

# ECN210 会計学

2年 3,4クォーター

担当教員 岡崎 英一

授業形態 講義

単位数 2

曜日・時限 火曜日・5時限

## 授業概要

地域課題の探求及びその解決のためには、地域の企業等の経営活動、その財務状態等についての調査・研究が必要となる。そのためには地域の企業等の経営・財務に関する会計学の知識が必要となる。また地域の企業の国際化のためには、国際会計基準（IFRS）に関する知識も必要となる。本授業では、企業等の会計に関する基本的な理論やルールを学び、それに基づく適切な情報作成や伝達（財務諸表の作成）について習得し、さらにその数値の分析方法を身につけることにより、地域企業をめぐる課題探求・課題解決のための基本的な知識を習得する。また国際的な会計ルール（国際会計基準等）についての概説を行い、我が国の会計ルールとの違い等についても一定の知識を身に着ける。

## 到達目標

学生は地域課題の探求及びその解決のために必要となる、

- (1) 日本の会計制度を理解する
- (2) 損益認識の基本原則を理解する。
- (3) 資産・負債・純資産処理の基本原則を理解する
- (4) 財務諸表をもちいた企業等の経営情報を理解する

## 先修科目

経営学概論

## 教科書・参考資料等

受講時に資料を配布する。

## 授業の方法

配布資料に基づき講義を行う。PC等の情報機器を用いて、計算問題等を解くことがある。なお、2～3回に一度課題を与え、それまでの講義の内容を確認する。また適宜、特定の課題について、受講者全体で討論を行うことがある。

## 成績評価

講義の理解状況、与えた課題の取組状況、最終試験の状況を総合的に判断する。

## 成績

レポート提出（40%）、受講状況（20%）、最終試験（40%）

## 授業スケジュール

### 第1回 会計制度の概要

我が国の会計制度である、企業会計基準、財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則、会社法及び会社計算規則等の会計制度の概要について講義する。

### 第2回 損益の認識1

収益の認識・測定方法について講義する。

### 第3回 損益の認識2

費用の認識・測定方法、費用・収益の対応関係について講義する。

### 第4回 金融資産1

金融資産の認識・測定の原則・理論について講義する。

## 第5回 金融資産2

金融資産の具体的な会計処理方法について講義する。

## 第6回 棚卸資産

棚卸資産の認識・測定原則・理論、及び具体的な会計処理方法について講義する。

## 第7回 有形固定資産

有形固定資産の認識・測定原則・理論、及び具体的な会計処理方法について講義する。

## 第8回 無形固定資産・繰延資産

無形固定資産・繰延資産の認識・測定原則・理論、及び具体的な会計処理方法について講義する。

## 第9回 資産評価論

現在の会計制度における資産評価理論の構造について講義する。

## 第10回 負債会計

負債の認識・測定原則・理論、及び具体的な会計処理方法について講義する。

## 第11回 純資産会計

純資産の認識・測定原則・理論、及び具体的な会計処理方法について講義する。

## 第12回 外貨換算会計

外貨建会計の原則・理論、及び具体的な会計処理方法について講義する。

## 第13回 連結会計

連結会計の原則・理論、及び具体的な会計処理方法について講義する。

## 第14回 国際会計基準1

資産会計におけるIFRSと日本の会計との違いを講義する。

## 第15回 国際会計基準2

資産会計以外のIFRSと日本の会計との違いを講義する。

## 第16回 期末試験

## 事前・事後学習

---

あらかじめ資料を配布するので、講義聴講の前に、対応する項目を一読すること(予習)。  
講義聴講の後に、講義された内容・配布資料について理解を深めること(復習)。